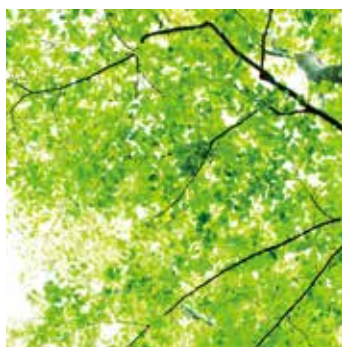


# 基金だより



## はじめに



北海道教育大学長  
蛇穴 治夫

皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

本学では、教師をめざす、あるいは地域社会の様々な分野で活躍しようと勉学に励む学生を支援するために、平成18年12月に基金を創設し、募金活動を実施してまいりました。

この間、多くの企業・団体、同窓会、学生の保護者及び教職員をはじめとする、本学を思う様々な方々からご寄附を賜り、これまでに、延べ600名以上の学生に奨学金授与を行う等、大変有意義な基金事業を行うことができました。皆様から温かいご支援を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。

今、教育現場では、学力・体力の低下、いじめ、不登校等様々な課題が山積しております。本学では、より実践的な指導力を育成するために、現実的な教育課題に主体的に取り組むアクティブ・ラーニング型の授業を新たに開発しました。同時に、実践的な指導力の基盤を支える「子どもに対する教育的愛情」と「教師の使命感・情熱」を涵養し、「基本的な研究力」を育成するカリキュラムへと改善いたしました。

また、全国の大学に先駆けて「新課程」を改組し、国際的な視野と教育マインドを持ち、豊かなコミュニケーション能力を発揮しながら、地域を活性化できる人材を養成する「国際地域学科」と、芸術やスポーツの文化価値と社会的包摂機能を地域の様々な課題解決へ活用し、また、新たな文化ビジネスへつなげる発想を持つ地域再生の核となる人材を養成する「芸術・スポーツ文化学科」の設置を果たしました。

本学はこれからも「教員と地域人材の養成を通じて、地域の成長・発展を牽引する大学」の実現に努めてまいります。今後とも一層のご理解、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

### ※従来の「北海道教育大学教育支援基金」を「北海道教育大学基金」へと改称しました。

平成28年度税制改正において、国立大学法人等が実施する修学支援事業に充てられる個人からの寄附金に対して、従来の「所得控除」に加え、「税額控除」の適用を受けることができるようになりました。これを受け、本基金では、経済的に修学が困難な学生に対する修学支援事業を新設するとともに基金事業の拡大を図ったことから、基金の名称を変更いたしました。

この改正に伴い、平成28年度は従来からの優秀学生に対する奨学金に加え、経済的理由により修学が困難な学生に対する授業料減免と奨学金給付を行いました。学生に対する経済支援の強化については、社会的にも重要な課題となっているところであり、本学においてもより一層の推進を図りたいと考えております。

## 目 次

1. 平成28年度事業報告	2	6. 寄附者のご紹介	14
2. 基金の収支状況	2	企業、法人、団体等	14
3. 育英事業奨学金受給者から	3	個人	16
学部学生	3	7. 大学の近況報告	20
大学院生	6	北海道教育大学基金規程	23
4. 奨学金授与者数	8		
5. 奨学金授与者一覧	10		
学部学生	10		
大学院生	11		

■平成28年度事業として以下のとおり実施しました。

### 育英事業

- ①優秀な大学院生（現職教員以外）への奨学金支給  
10名に対し、1人10万円 計100万円を支給
  - ②優秀な学部学生への奨学金支給  
15名に対し、1人10万円 計150万円を支給
- 合計 25名 250万円を支給

### 修学支援事業

- ①経済的理由により修学困難な学生に対する授業料減免  
4名に対し、後期分授業料の半額 計528,300円を免除
- ②経済的理由により修学困難な学生に対する奨学金給付  
2名に対し、1人10万円 計20万円を給付

### キャンパス指定事業

函館校寄附講座の開催の支援、岩見沢校サッカー一部の活動支援のほか、各校の修学環境整備、学生支援、教育支援、就職支援、学生活動支援等に要した経費を支出した。

■平成28年度のご寄附の状況、支出の状況は次のとおりです。

(単位：円)

収 入		支 出	
修学支援事業	2,479,500	修学支援事業	732,336
その他の事業	19,203,641	その他の事業	13,426,165
育英事業等	4,029,589	育英事業	2,506,628
キャンパス指定事業	15,174,052	キャンパス指定事業	10,919,537
		管理費(リーフレット、手数料等)	230,122
		合 計	14,388,623
合 計	21,683,141	差引収支額	7,294,518

■平成18年12月の基金創設時から、平成29年3月までのご寄附の状況、支出の状況は次のとおりです。

(単位：円)

収 入		支 出	
修学支援事業	2,479,500	修学支援事業	732,336
その他の事業	110,459,875	その他の事業	89,402,031
育英事業等	92,825,823	育英事業	75,956,628
		現代的教育課題への研究支援事業	306,188
キャンパス指定事業	17,634,052	キャンパス指定事業	13,139,215
		管理費(リーフレット、手数料等)	317,427
		合 計	90,451,794
合 計	112,939,375	寄附金残額	22,487,581

## 学部学生

## ◆札幌校 教員養成課程 言語・社会教育専攻 2年 山田 光歩

このたびは、北海道教育大学基金より奨学金を授与していただき、誠にありがとうございます。奨学生に選んでいただいたこと、大変嬉しく思っております。

わたしは現在、中学校の英語教諭を目指しており、英語教育の小中連携や、海外の教育などについて学びたいと思っています。両親及び、ご支援頂いた方々への感謝の気持ちを忘れずに、夢の実現に向け、より一層勉学に励んでいきたいと思っております。本当にありがとうございました。



## ◆札幌校 教員養成課程 特別支援教育専攻 3年 松本 奈津実

このたびは北海道教育大学基金より奨学金を授与していただき、誠にありがとうございます。学業と様々なことの両立が難しく、時には悩んだこともありましたが、このような形で評価していただき、自分の自信になりました。残りの大学生活も、学業と部活動やアルバイト、1人暮らしの両立を図り、充実した生活を送りたいです。ご支援いただいた方々への感謝の気持ちを忘れず、これからも精進していきたいと思っております。本当にありがとうございました。

## ◆札幌校 教員養成課程 基礎学習開発専攻 4年 川平 悠介

このたびは北海道教育大学基金より、奨学金を授与していただき、誠にありがとうございました。奨学生に選んでいただいたことを、大変嬉しく光栄に思っております。

現在私は小学校教諭を目指し、算数科教育を中心に勉学に励んでおります。

今後は、奨学生の名に恥じないように、そして、ご支援していただいた方々への感謝の気持ちを忘れずに更に勉学に励んでいきたいと思っております。重ねて、このたびは誠にありがとうございました。



## ◆旭川校 教員養成課程 教育発達専攻 2年 福田 夏実

このたびは、北海道教育大学基金より奨学金を授与していただき、ありがとうございます。これまでの努力が認められ、大変嬉しく思います。これからも、大学での学びを教育のフィールドに生かすことができるよう、真摯に学び姿勢を大切にします。現在私は、ボランティアや実習を通じて、子どもと関わることの楽しさや難しさを実感しております。しかし、毎回の活動が勉強になり、やりがいを感じています。今回授与していただいたことを誇りに、自分の理想の教育者になることができるよう、精進してまいります。

## ◆旭川校 教員養成課程 教育発達専攻 3年 小滝 麻琴

このたびは、北海道教育大学基金より、奨学金を授与して頂き、誠にありがとうございます。奨学生に選んでいただき、大変嬉しく光栄に思っております。

私は、現在小学校教諭を目指し、日々勉学に励んでおります。今後は、特に自分の専攻分野である特別支援教育に関して、現場で生かせる知識や経験を身に付けていけるよう一層努力していきたいと思っております。

ご支援していただいた方々への感謝の気持ちを忘れず、これからも全力で日々精進してまいります。本当にありがとうございました。





◆旭川校 教員養成課程 芸術・保健体育教育専攻 4年 太田 帆南

このたびは、北海道教育大学基金より奨学金を授与していただき、誠にありがとうございます。お話をいただいたときは本当に驚きましたが、各々が自身の夢の実現へ努力している中、私をこのような形で評価していただいたことは自分にとって大変嬉しいものであり、またこれまで励んできたことに誇りを持つことができました。4月からは社会人となりますが常に努力を忘れず、残り少ない大学生活を大切に過ごし多くのことを学びたいと思っております。ご支援いただいた皆様へ感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

◆釧路校 教員養成課程 学校カリキュラム開発専攻 2年 小山 知倫

この度は、北海道教育大学基金より奨学金を授与していただき、誠にありがとうございます。これまでの学業成績が評価されたことを嬉しく思うとともに、今後の大学での学習・研究をより積極的に取り組んでいこうと考えております。

私は、大学で音楽教育を学んでおり、日々精一杯取り組んでおります。北海道の音楽教育に貢献できる人間となるため、これからも幅広い知識や技能、音楽性をこの大学での学びを活用しつつ、磨いていきます。

ご支援いただいた方々への感謝の気持ちを忘れず、より自主性のある学びを推進していきたいと思っております。



◆釧路校 教員養成課程 学校カリキュラム開発専攻 3年 宮田 遥海

このたびは、北海道教育大学基金より奨学金を授与していただき、ありがとうございます。奨学生に選んでいただいたことで、自分の努力が認められたように感じたと共に、ご寄付いただいた方々に感謝の思いでいっぱいです。今後、より一層勉学に励もうと思っております。将来、子どもの個性や可能性を伸ばせるような教師になるため、実習やボランティア活動を通じて、様々なことを学びたいです。このたびは、誠にありがとうございました。

◆釧路校 教員養成課程 地域教育開発専攻 4年 松山 侑奈

このたびは、北海道教育大学基金より奨学金を授与していただき誠にありがとうございます。今回奨学生に選んでいただきとても驚くとともに、これまでの学業を評価していただいたことをとても嬉しく思っております。卒業まで残り少ないですが、多くの方々に支えていただいていることへの感謝の気持ちを忘れずに、少しでも社会の役に立てるよう、より一層勉学に励みながら悔いの残らない学生生活を過ごしていきたいと思っております。本当にありがとうございました。



◆函館校 国際地域学科 地域協働専攻 2年 吉田 莉緒

このたびは、北海道教育大学基金より奨学金を授与していただき、誠にありがとうございます。奨学金授与のお話を聞いた際は、大変驚きましたが、このような形で学業の成果を評価していただき、大変嬉しく光栄に思います。

様々な知識に触れた中で出会った、自分が関心を抱いた分野について積極的に追求していきたいと思っております。

ご支援をいただいた方々への感謝の気持ちを忘れず、今後もより一層勉学に励んでいきます。本当にありがとうございました。

◆函館校 国際地域学科 地域協働専攻 3年 勝田 由美

このたびは、北海道教育大学基金より奨学金を授与していただき、誠にありがとうございます。奨学生に選んでいただき、大変うれしく、光栄に思っております。

授与された奨学金は、ゼミで必要な参考文献を購入するなど、学業のために大切に使用させていただこうと考えております。

寄付してくださった皆様への感謝を胸に、一層勉学に励み、これからの大学生活をより充実したものにしていこうと思っております。本当にありがとうございました。



◆函館校 人間地域科学課程 地域創生専攻 4年 寺本 透

このたびは北海道教育大学基金より奨学金を授与して頂き、心より感謝申し上げます。

大学入学以来、学びを探究する喜びをかみしめながら、勉学に励んでいます。子どもたち自身が自己のことばで物の感じ方、見方、考え方をとらえていくために、どのように向き合い、私なりの教育実践をおこなっていくことができるか。試行錯誤の毎日ではありますが、今回の奨学金をひとつの励みにし、さらに学びを深めていきたいと思っております。

◆岩見沢校 芸術・スポーツ文化学科 美術文化専攻 2年 佐藤 夏子

このたびは、北海道教育大学基金より奨学金を授与していただき、大変うれしく、光栄に思っております。

実は、入学して1年目の後期は、環境の変化から大きく体調を崩してしまい、通院を繰り返し、講義に出席することが難しい状態にありました。2年目の春から復学し、名誉ある奨学生に選んでいただけたのは、家族や先生方、友人の支えがあってこそその結果だと心より感謝しています。

奨学生として恥じぬよう、誇りと自信を持って、勉学に、そして充実した美術制作に努めます。ご寄附いただいた皆様、本当にありがとうございました。



◆岩見沢校 芸術・スポーツ文化学科 芸術・スポーツビジネス専攻 3年 松本 茉奈

この度は、北海道教育大学基金より奨学金を授与していただき、誠にありがとうございます。お話を頂いた際には、大変驚きましたが、今までの努力が認められたように感じ大変嬉しく思います。

今回授与していただいた感謝を忘れずに、また、授与に先立ち、この基金に協力してくださった方々の期待を裏切ることがないように、また、恥じないように、これからも努力することを忘れずに何事にも精進していきたいと存じます。本当にありがとうございました。

◆岩見沢校 芸術課程 美術コース 4年 中村 まり子

このたびは、北海道教育大学基金より奨学金を授与していただき、誠にありがとうございます。奨学生に選んでいただけたことを大変嬉しく思うとともに、自分がこれまでに学びに励んできたことに誇りと自信を持ちました。いただいた奨学金は絵画についての研究費用に使わせていただきます。様々なところで私を支えてくださる皆様に感謝の気持ちを忘れずに今後もより一層努めてまいります。



◆教科教育専攻 音楽教育専修（札幌・岩見沢校） 2年 星野 麻里子

この度は、北海道教育大学基金より奨学金を授与していただき、まことにありがとうございました。奨学金授与のお話を頂き、はじめは大変驚きましたが、大学院での自分の取り組みが評価されたことを嬉しく感じるとともに、身を引き締めて一層努力していきたいと感じた所存です。いただいた奨学金は、今後の教育についての学び、また音楽の学びのために使わせていただきたいと思います。本当にありがとうございました。



◆教科教育専攻 美術教育専修（札幌・岩見沢校） 2年 遊佐 千裕



この度は北海道教育大学基金より奨学金を授与して頂き、心から感謝申し上げます。奨学金授与のお話を頂いた時はとても驚きました。私の今までの努力を評価して頂けたように感じられ、大変嬉しく、そして誇りに思います。

ご支援頂いた皆様への感謝の気持ちを忘れず、これからも研究活動に真摯に取り組み、自己研鑽に励んでいきたいです。そして、子どもたちの個性を尊重し、創造活動の喜びを味わわせてあげられる美術教師になれるよう惜しまない努力をしていく覚悟でいます。温かいご支援、本当にありがとうございました。

◆教科教育専攻 音楽教育専修（旭川校） 2年 布施 美砂子

この度は、北海道教育大学基金育英事業奨学生として身に余る評価をいただき、光栄に存じます。これもひとえに、ご支援とご指導を賜ったすべての方々のお陰であり、心より御礼申し上げます。

浅学非才の身にございますが、今後は北海道の教育の発展のために、微力を尽くす所存です。

重ねて、この度はありがとうございました。



◆教科教育専攻 英語教育専修（旭川校） 2年 安田 真



この度は北海道教育大学基金を授与していただき、心より感謝申し上げます。このような奨学制度を通し、改めて、様々な方々の支えのおかげで研究することができているのだと実感しております。皆様から頂いたご寄付を今後の研究や教育のために活用し、その成果を社会に還元していきたいと思っております。研究を支えてくださる皆様への感謝の気持ちを持ち続け、そして、期待に応えることができるように、今後さらに精進して参ります。この度は本当にありがとうございました。

◆学校教育専攻 学校教育専修（釧路校） 2年 福 一紀

このたびは、北海道教育大学基金育英事業における奨学金を授与いただきまして、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。大学や多くの寄附者の方々に支えられながら、学業に専念できていると感じております。

さて、大学院では体験活動にかかわる研究をしながら、釧路校の国際交流の促進にも携わらせていただいています。今回このような形で評価していただいたことを光栄に感じ、今後も一層、研究や勉学はもちろん、釧路校の発展のために貢献していきたいと考えています。

重ねまして、本当にありがとうございました。



◆教科教育専攻 社会科教育専修（函館校） 2年 渡邊 美菜

このたびは、北海道教育大学基金から奨学金を授与していただき、誠にありがとうございました。社会科教育専修は、2016年度現在4名しか在籍者がおりません。そのような中、私なりに道南における社会科教育の振興のために努めていたところを、このような形で評価していただき、うれしく思います。今回、皆様からいただいたご支援は、自分の研究内容である地理教育の再興に向けた研究費に充てさせていただきます、実際に時間講師として勤務している学校で研究成果を授業で実践させていただいております。今後も、引き続き研究に勤しみ、皆様から頂いたあたたかいご支援を、生徒を介してお返しできるよう精進してまいります。本当にありがとうございました。

◆学校臨床心理専攻 学校臨床心理専修（札幌校） 2年 阿部 真利恵

このたびは、北海道教育大学基金より奨学金を授与していただき本当にありがとうございます。このようなご支援をして頂けましたことに大変驚きましたが、大学院での学びを評価して頂き、嬉しい気持ちと感謝の気持ちでいっぱいです。

ご支援していただきました皆様から支えられているという感謝の気持ちを忘れることなく、今後も勉学をはじめ様々な活動に一層精進していく所存です。本当にありがとうございました。



◆高度教職実践専攻 高度教職実践専修（札幌校）  
2年 寺田 和史

このたびは、北海道教育大学基金より奨学金を授与していただき本当にありがとうございました。2年前「授業で生徒を育てられる教師になりたい」という思いで大学院入学を決めました。がむしゃらに走り続けた2年間でした。この2年間の出会いや経験は、間違いなく自分の教育観を更新し、課題を明確にしてくれました。修了を目前にした今、私は、集団の中で明確な自分をもって仲間と協働できる生徒を育みたいと強く思っています。ご支援をいただいた皆様への感謝の気持ちを忘れることなく研究を続け、教職大学院での学びを目の前の生徒へと還元していくよう勤めていきたいと考えております。本当にありがとうございました。

◆高度教職実践専攻 高度教職実践専修（札幌校） 2年 木野 克哉

この度は、北海道教育大学基金より授与していただき、誠にありがとうございます。奨学生として選んでいただき、大変うれしくっております。

今回、このような形で評価されたことについて、感謝の気持ちと同時に、改めて勉学に励まなければならないという自分への戒めの機会とすることができました。今年度で大学を卒業し、次年度からは教員としての自覚と責任をしっかりと持ちながら、本学で学んだことを生かしていきたいと考えております。本当にありがとうございました。





## 4

## 奨学金授与者数（修学支援事業を除く）

(単位：人)

平成 19年度	区 分	大学院生(現職教員)	学部学生	計
	札幌校 札幌・岩見沢校	7	6	13
旭川校	5	6	11	
釧路校	3	6	9	
函館校	3	6	9	
岩見沢校	—	6	6	
計	18	30	48	

(単位：人)

平成 20年度	区 分	大学院生(現職教員)	学部学生	計
	札幌校 札幌・岩見沢校	32	6	38
旭川校	15	6	21	
釧路校	13	6	19	
函館校	4	6	10	
岩見沢校	—	6	6	
計	64	30	94	

(単位：人)

平成 21年度	区 分	大学院生		学部学生	計
		現職教員	その他		
札幌校 札幌・岩見沢校	37	5	6	48	
旭川校	23	2	6	31	
釧路校	15	1	6	22	
函館校	4	1	6	11	
岩見沢校	—	—	6	6	
計	79	9	30	118	

(単位：人)

平成 22年度	区 分	大学院生		学部学生	計
		現職教員	その他		
札幌校 札幌・岩見沢校	31	5	3	39	
旭川校	15	1	3	19	
釧路校	11	1	3	15	
函館校	4	1	3	8	
岩見沢校	—	—	3	3	
計	61	8	15	84	

(単位：人)

平成 23年度	区 分	大学院生		学部学生	計
		現職教員	その他		
札幌校 札幌・岩見沢校	34	2	3	39	
旭川校	11		3	14	
釧路校	9	1	3	13	
函館校	1	2	3	6	
岩見沢校	—	—	3	3	
計	55	5	15	75	

(単位：人)

平成  
24年度

区 分	大学院生		学部学生	計
	現職教員	その他		
札幌校 札幌・岩見沢校	32	1	3	36
旭川校	15	1	3	19
釧路校	7	1	3	11
函館校	2	2	3	7
岩見沢校	—	—	3	3
計	56	5	15	76

(単位：人)

平成  
25年度

区 分	大学院生		学部学生	計
	現職教員	その他		
札幌校 札幌・岩見沢校	17	3	3	23
旭川校	8	—	3	11
釧路校	5	2	3	10
函館校	2	—	3	5
岩見沢校	—	—	3	3
計	32	5	15	52

(単位：人)

平成  
26年度

区 分	大学院生	学部学生	計
札幌校 札幌・岩見沢校	3	3	6
旭川校	—	3	3
釧路校	—	3	3
函館校	2	3	5
岩見沢校	—	3	3
計	5	15	20

(単位：人)

平成  
27年度

区 分	大学院生	学部学生	計
札幌校 札幌・岩見沢校	2	3	5
旭川校	—	3	3
釧路校	4	3	7
函館校	—	3	3
岩見沢校	—	3	3
計	6	15	21

(単位：人)

平成  
28年度

区 分	大学院生	学部学生	計
札幌校 札幌・岩見沢校	5	3	8
旭川校	3	3	6
釧路校	1	3	4
函館校	1	3	4
岩見沢校	—	3	3
計	10	15	25

## 学部学生

## 平成19年度

札幌校	生駒亜沙美	岸部 友里	北川 景子	齋藤真紀子	世羅 桃子	濱田 忍
旭川校	紫牟田真梨子	田丸 望	長谷川彩姫	原谷佳那美	古屋絵理子	渡辺 博美
釧路校	小川さやか	菊池 嘉之	小松代好美	佐藤 佳奈	佐藤 治樹	野手友里江
函館校	青柳 雅也	官尾 佳子	佐々木典子	白石 梓	谷口 香織	二階堂有加
岩見沢校	伊藤 礼奈	鎌田ゆりか	馬場佳奈美	早坂 宣哉	藤田 靖子	古城 一樹

## 平成20年度

札幌校	阿部 智恵	生駒亜沙美	加藤 渚	菊嶋 瑞恵	近藤友里香	吉成 翔子
旭川校	大西 美貴	坂本 麻美	宍戸 弥生	造田 聖明	長谷川恵子	福崎 悠平
釧路校	東谷 美優	大澤 未怜	川嶋 真理	菊地 嘉之	瀬古 淳祐	矢野 智隆
函館校	小坂 麻綾	佐々木典子	嶋 宏美	嶋村 幸子	徳家 玲子	永井 達也
岩見沢校	縣 詩乃	熊谷 里歩	佐々木悠子	佐藤 有希	福田 友輔	森脇ゆかり

## 平成21年度

札幌校	石川 知実	大嶋 杏奈	小笠原里恵	木村乃梨恵	黒川 桃子	今野 倫世
旭川校	尾岸 史織	今野 尋武	崎山 光	惣名 乙生	西村 卓朗	福崎 悠平
釧路校	浅海麻登香	浅見 由比	東谷 美優	中野 佑美	野呂田絵梨	目黒 翔子
函館校	川村 翔栄	粉川 光葉	小坂 麻綾	小林 伸	作山 千佳	杉本 圭吾
岩見沢校	蒲生 愛	佐々木悠子	中村 真紀	中村 悠子	星澤 加奈	山田 里沙

## 平成22年度

札幌校	石川 知実	大井 絢加	黒川 桃子
旭川校	幸谷 紗智	新井田知果	西原 千晶
釧路校	青山麻里亜	大路 直輝	工藤よしの
函館校	石川 唯一	佐藤 光帆	田丸 順一
岩見沢校	阿部 静	菅原 彩里	中村 悠子

## 平成23年度

札幌校	石川 知実	長島 愛	水野ひかる
旭川校	幸谷 紗智	小林 里歌	野村友香里
釧路校	工藤よしの	中村 紋歌	藤澤 有希
函館校	石川 唯一	北明 里奈	代嶋亜耶乃
岩見沢校	岩崎 加奈	菅野 早帆	鹿野真利江

## 平成24年度

札幌校	阿部 希	堀川 舞	水野ひかる
旭川校	大下 美紀	幸谷 奈緒	小林 里歌
釧路校	上野 友見	藤澤 有希	茂古沼佳奈
函館校	北明 里奈	古屋敷彩紀子	森 愛莉
岩見沢校	阿部 ゆう	菅野 早帆	森山 綾乃

## 平成25年度

札幌校	上林 佳恵	木戸 優香	水野ひかる
旭川校	幸谷 奈緒	小林 里歌	松村 朋美
釧路校	織田 南	木立 浩平	茂古沼佳奈
函館校	佐藤 美海	瀬川 琴乃	森山 愛理
岩見沢校	金野 祐介	鹿野真利江	中村 悠希

■平成26年度

札幌校	請川 綾	内田 祐太	上林 佳恵
旭川校	阿久津 涼	川端 麗美	館崎 有希
釧路校	清水野佑季	菅原 亜希	茂古沼佳奈
函館校	伊藤 徹哉	寺町あずさ	前田 美紅
岩見沢校	井内 沙織	伊勢菜々美	鹿俣 智裕

■平成27年度

札幌校	濱谷 優香	藤井 美緒	山崎 北斗
旭川校	鷲見 隆	長尾 明佳	福森 喜歌
釧路校	安藤 直樹	金子 由佳	高橋万里菜
函館校	徳山ゆう子	前田 美紅	森 白萌
岩見沢校	井内 沙織	梅村明日香	横山芙由美

■平成28年度

札幌校	川平 悠介	松本奈津実	山田 光歩
旭川校	太田 帆南	小滝 麻琴	福田 夏実
釧路校	小山 知倫	松山 侑奈	宮田 遥海
函館校	勝田 由美	寺本 透	吉田 莉緒
岩見沢校	佐藤 夏子	中村まり子	松本 茉奈

大学院生

■平成19年度

札幌・岩見沢校	市村 慈規 三木 直輝	緒形久仁子	氣田 幸和	坂野久美子	坂見 明信	都築愛一郎
旭川校	岡 栄樹	奥山るみ子	斉藤 満幸	志村 昭暢	藤根 淳一	
釧路校	加瀬 利憲	菊地 信二	横澤 尚			
函館校	阿部 智	倉科 辰男	宮田 智文			

■平成20年度

札幌・岩見沢校	五浦 哲也 紺谷 正樹 高田 淳 三上 久代	小田 浩平 齋藤 知子 高橋寿美子 山田 潮	鎌田 良子 佐々木美奈 早川 崇律 渡辺 恭子	亀原めぐみ 島貫 静 藤田 直人	小綱 りか 首藤啓美子 細田麻里子	小西 公人 正武家重治 益山 友和
札幌校	石若 拓哉 中村 公美	清水 顕史 牧野 素子	宿野部浩紀 箕田 裕	菅谷 昌弘 村岡美千世	鈴木かおり 吉田 和令	中鉢 友彦
旭川校	荒木 直也 佐藤 憲幸 松浦 隆史	尾野 政明 三瓶 朋仙 松原 雅人	小野 祥康 谷越 秀樹 山川美千代	小玉 利佳 内藤 奏子	坂本 哲昭 萩中希公代	佐藤 彰良 八柳 学
釧路校	大野 昌宏 中根 潔 和田 秀治	後藤田 彰 中根 照子	佐々木 恵 橋間 智之	佐藤 広美 長谷川郁子	高橋 幸紀 早津 茂行	舘 英樹 森江 祐子
函館校	櫛田 朝子	小阪 忠弘	高木 俊明	松本 了祐		

■平成21年度

札幌・岩見沢校	新谷 洋介 亀原めぐみ 齋藤 知子 問谷 香織 松永 美冬	池田 有香 唐嶋田 智 佐藤(細田)麻理子 戸倉 広晶	石郷岡久乃 國岡 健 首藤啓美子 永井 敦	内田 雅志 小綱 りか 正武家重治 早川 崇律	小田 浩平 小西 公人 高橋寿美子 藤田 直人	小野寺 仁 紺谷 正樹 土田 佳織 益山 友和
札幌校	飯坂 直子 宿野部浩紀 牧野 素子	石若 拓哉 菅谷 昌弘 松本 博紀	伊藤 道男 鈴木かおり 箕田 裕	小原 要 中鉢 友彦 村岡美千世	笹川 輝子 中村 公美 吉田 和令	清水 顕史 鳴海 昌江
旭川校	天野 薫 加藤 信彦 佐藤 憲幸 八柳 学 湯浅 啓介	荒木 直也 上川 由起 菅沼 純治 日暮 豊	小田 亨 菅野絵里子 菅原真由美 松浦 隆史	大久保雅恵 小玉 利佳 谷越 秀樹 松原 雅人	大橋 毅士 坂本 哲昭 内藤 奏子 望月 俊綱	尾野 政明 佐藤 彰良 中田 均 山川美千代
釧路校	大野 昌宏 中根 潔 松本 茂	後藤田 彰 中山 生欧 宮村 皇史	佐藤 広美 橋間 智之 村上 裕幸	高橋 幸紀 長谷川郁子 森江 祐子	高畠 昌之 長谷川 綾	坪井 条太 前山 尚子
函館校	加恵田庸子	櫛田 朝子	近藤 幸雄	桜庭 一宏	佐藤ひろこ	

■平成22年度

札幌・岩見沢校	新谷 洋介 國岡 健 坪内 宣 久蔵 幸生	池田 有香 近藤 尚也 問谷 香織 藤野 忠	石郷岡久乃 小綱 りか 東郷 将成 松永 美冬	大塚 智彦 サイメイアイ 戸田 範子	太田眞知子 澤野 詩織 苫米地幸子	小野寺 仁 玉川真里子 原 千里
札幌校	阿部 利行 笹川 輝子 松本 博紀	飯坂 直子 佐々木隆元 安井 政樹	伊藤 道男 中村 文昭 箭原さおり	小原 要 鳴海 昌江	久々江史也 能登 敬久	鴻江 康人 前中 億
旭川校	新谷 大智 上川 由起 日暮 豊	安藤 俊介 齋藤 裕子 松村 愛里	大久保雅恵 菅沼 純治 望月 俊綱	大橋 毅士 菅原真由美 湯浅 啓介	小田 亨 中田 均	加藤 信彦 中野 正博
釧路校	井川 大介 坪井 条太	更科 結希 中山 生欧	式部 純弥 長谷川 綾	新谷千鶴子 松本 茂	高畠 昌之 宮村 皇史	竹原 勝則 村上 裕幸
函館校	河島 弘幸	近藤 幸雄	桜庭 一宏	佐藤ひろこ	藤井 美鈴	

■平成23年度

札幌・岩見沢校	榎本 美子 坪内 宣	大井 隆之 林 恵理子	大崎 明莉 久蔵 幸生	大塚 智彦 藤野 忠	小綱 りか 村田 敏彰	高屋 希望 元岡 陽子
札幌校	阿部 利行 鴻江 康人 中村 文昭 前田 直樹	大久保圭介 佐々木隆元 能登 敬久 真島 勝彦	大澤 洋子 菅沼 真弓 林 基次 宮腰 伸一	小笠原一彦 玉川真里子 平本 洋康 安井 政樹	喜多 正則 戸田 範子 藤森 由希 箭原さおり	久々江史也 苫米地幸子 細川 光 吉田ゆかり
旭川校	安藤 俊介 東海林秀樹	浦瀬 潔 中野 正博	岡 弘和 馬場 大輔	菅野 裕介 古岡 佳洋	岸 美香 松村 愛里	齋藤 裕子
釧路校	井川 大介 館岡 良枝	角田 隆二 根本 雅之	菊池 杏子 福田 貴志	更科 結季 細川 遼太	式部 純弥	竹原 勝則
函館校	則竹 政宏	藤井 美鈴	干場衣知乃			

■平成24年度

札幌・岩見沢校	石田 正継 山本 大輔	今村 浩子	榎本 美子	大井 隆之	高屋 希望	村田 敏彰
札幌校	伊勢 敏哉	井上 無央	梅田 典志	大久保圭介	大澤 圭	小笠原一彦
	尾崎 茂樹	上口 隆徳	喜多 正則	倉内 明子	菅沼 真弓	鈴木かなえ
	鈴木 行夫	都築 圭吾	二宮 司	林 基次	平本 洋康	樋渡 剛志
	福島由紀子	藤森 由希	古御堂敦子	前田 直樹	真島 勝彦	宮腰 伸一
旭川校	山本 未央	吉田ゆかり				
	浦瀬 潔	岡 弘和	菅野 裕介	岸 美香	佐藤 由佳	清水 雅明
	東海林秀樹	須賀 昌俊	中川 康範	馬場 大輔	古岡 佳洋	本間 里美
釧路校	本母 世跳	蒔田 和樹	三神 昭宏	若松 拓郎		
	蝦名 武宣	澤田 修一	清野 宏樹	中島 太郎	根本 雅之	深見 智一
	福田 貴志	湯浅 公志				
函館校	笠井 純	国友 優美	小坂 麻綾	外崎 美保		

■平成25年度

札幌・岩見沢校	石田 正継	今村 浩子	武田 理子	常本 亜希	山下 温子	
札幌校	伊勢 敏哉	井上 無央	梅田 典志	大澤 圭	尾崎 茂樹	上口 隆徳
	倉内 明子	鈴木かなえ	鈴木 行夫	都築 圭吾	二宮 司	樋渡 剛志
	福島由紀子	古御堂敦子	山本 未央			
旭川校	佐藤 由佳	清水 雅明	須賀 昌俊	中川 康範	本母 世跳	蒔田 和樹
	三神 昭宏	若松 拓郎				
釧路校	板林 正子	蝦名 武宣	今野 菜月	澤田 修一	清野 宏樹	中島 太郎
	深見 智一					
函館校	笠井 純	国友 優美				

■平成26年度

札幌・岩見沢校	井元 里美	菅原 博子	富田 睦美
函館校	近藤由希乃	西村 加奈	

■平成27年度

札幌・岩見沢校	西海 志織	根山 梓		
釧路校	上村 雅代	佐藤 健翔	中村 順子	沼田 泉

■平成28年度

札幌・岩見沢校	阿部真利恵	野口侑加奈	星野麻里子	遊佐 千裕
札幌校	寺田 和史			
旭川校	木野 克哉	布施美砂子	安田 真	
釧路校	福 一紀			
函館校	渡邊 美菜			

北海道教育大学基金は、平成18年12月に創設以来、これまで多くの方々にご協力をいただき、学部学生、大学院生への支援をはじめ、寄附講座開催や修学環境整備等への支援を行っております。

ここに、そのご厚志に対しまして感謝を申し上げますとともに、ご同意をいただいているの方々のご芳名とご寄附額をご紹介します。

また、高額のご寄附をいただきました方につきましては、本学ホームページ上のWeb寄附者銘板にご芳名を掲載させていただきます。皆様には、引き続き本基金にご支援くださいますようお願い申し上げます。

※本学の本部事務局内に設置しております寄附者銘板へのご芳名の掲載につきましては、平成28年11月までのご寄附をもって追加の掲載を終了させていただきました。なお、これまでにご寄附された皆様のご芳名を掲載した寄附者銘板については、引き続き設置しております。

※次回発行の基金だより第11号（平成30年3月予定）から、寄附者様のご芳名及び寄附額の掲載につきましては、過去1年間にいただいたご寄附のみとさせていただきますので、ご了承くださいませようお願いいたします。

### ■寄附者ご芳名（敬称略）平成29年3月31日現在

※寄附申込み時にご芳名の掲載を希望されなかった方については、掲載を割愛させていただいております。

#### 企業、法人、団体等（ご芳名とご寄附額の掲載についてご承諾いただいた企業、法人、団体等）

株式会社北洋銀行	8,000,000円	北海道教育大学六稜会	6,000,000円
北海道教育大学函館校尚学会	5,500,000円	一般社団法人北師同窓会	5,100,000円
北海道教育大学鶴陵会	5,000,000円	北海道教育大学青陵会	5,000,000円
北海道教育大学夕陽会	5,000,000円	一般社団法人新日本スーパーマーケット協会	3,000,000円
北海道教育大学生協同組合	2,500,000円	北海道教育大学旭川校後援会	2,200,000円
株式会社藤井ビル	350,000円	株式会社アイビス	300,000円
株式会社ヤマニ野口水産	300,000円	上光証券株式会社	300,000円
岩田地崎建設株式会社	200,000円	AUTO×AUTO	200,000円
株式会社アドニス	200,000円	協同出版株式会社	200,000円
中山食品工業株式会社	200,000円	有限会社オアシス	200,000円
医療法人社団慶友会吉田病院	170,000円	株式会社重森養蜂場	150,000円
内山産業株式会社	100,000円	株式会社アミノアップ化学	100,000円
株式会社北見ハッカ通商	100,000円	株式会社札幌北洋カード	100,000円
株式会社札幌北洋リース	100,000円	株式会社白亜ダイシン	100,000円
株式会社プリプレス・センター	100,000円	株式会社北星コーポレーション	100,000円
西出興業株式会社	100,000円	日本管財株式会社	100,000円
ノースパシフィック株式会社	100,000円	北栄保険サービス株式会社	100,000円
株式会社アストロ	90,000円	株式会社昭和総業	50,000円
株式会社にしりん	50,000円	特定非営利活動法人サポートシステムゆうあい	50,000円
中山技術コンサルタント株式会社	50,000円	日本道路株式会社北海道支店	50,000円
株式会社ベルックス	40,000円	旭川通運株式会社	30,000円
旭川電気軌道株式会社	30,000円	荒井建設株式会社	30,000円
株式会社石田文具	30,000円	株式会社坂下工務店	30,000円
株式会社サトーエージェンシー	30,000円	サザエ食品株式会社	30,000円
大地コンサルタント株式会社	30,000円	フラワービル株式会社	30,000円
有限会社矢田工業	30,000円	イワクラホーム株式会社	20,000円
株式会社坂口精肉店	20,000円	株式会社北海道健誠社	20,000円
株式会社陽気堂	20,000円	第一碎石株式会社	20,000円
北海美掃株式会社	20,000円	株式会社古清商店	11,000円
アクティブテニスアカデミー	10,000円	株式会社エッセ	10,000円
株式会社蔵元	10,000円	株式会社五島軒	10,000円
株式会社北洋銀行函館中央支店	10,000円	株式会社ま印水産	10,000円
札幌南口一タリークラブ	10,000円	白鳥建設株式会社	10,000円

夕陽会空知支部	10,000円	トミヤ商事株式会社	10,000円
日成工機株式会社	10,000円	日本清酒株式会社	10,000円
函館酸素株式会社	10,000円	函館水産市場仲卸協同組合	10,000円
山田総合設計株式会社	10,000円	有限会社三和印刷	10,000円
有限会社不動産企画ウィル	10,000円		

※金額順（同額の場合は五十音順）

企業、法人、団体等（ご芳名のみ掲載についてご承諾いただいた企業、法人、団体等）

赤川建設興業株式会社	旭川信用金庫
旭川ターミナルビル株式会社	旭川トヨタ自動車株式会社
旭川ロータリークラブ	アド・フレッシュ有限会社
池田煖房工業株式会社	今井金商株式会社
医療法人社団カレスサップロLSI札幌クリニック	エア・ウォーター株式会社
エア・ウォーター・サービス株式会社	小樽信用金庫
株式会社アインファーマシース	株式会社旭ダンケ
株式会社アラゼン	株式会社エスイーシー
株式会社エスコムブレーン	株式会社エヌシーマック
株式会社菓子處大丸	株式会社カナミ商会
株式会社きのとや	株式会社旭薬調剤センター
株式会社クラーク総研	株式会社KDS札幌支社
株式会社恵和ビジネス	株式会社公益社
株式会社コーノ	株式会社コナミススポーツ&ライフ
株式会社坂口精肉店	株式会社札幌銀行
株式会社札幌振興公社	株式会社札幌第一興産
株式会社札幌ドーム	株式会社サトービル
株式会社三八	株式会社シービーエス札幌営業所
株式会社シズナイロゴス	株式会社正文舎
株式会社すぎを	株式会社須田製版
株式会社世起	株式会社そごう・西武 西武旭川店
株式会社ダイイチプランニング	株式会社ティアンドケイ
株式会社テーオー小笠原	株式会社デジック
株式会社テレビ北海道	株式会社電業
株式会社東京商工リサーチ北海道支社	株式会社桐光クリエイティブ
株式会社トーフ	株式会社中野銘木店
株式会社ニシカワ産業	株式会社日興ジオテック
株式会社日専連旭川	株式会社日専連ニックコーポレーション
株式会社ニトリ（ニトリ北海道応援基金）	株式会社乃村工芸社北海道支店
株式会社函館丸井今井	株式会社橋本川島コーポレーション
株式会社ピーアールセンター	株式会社プラスエージェンシー
株式会社ホクシンラマナプロジェクト	株式会社北海道アルバイト情報社
株式会社北海道銀行旭川支店	株式会社北海道新聞社
株式会社みんなのことば舎	株式会社明匠建工
株式会社モーニング	株式会社森川組
株式会社ヤマシタ	株式会社ライナーネットワーク
北ツール株式会社	北電力設備工事株式会社
行政書士東方事務所	京和商事株式会社
釧路信用金庫	交洋不動産株式会社
小城公明税理士事務所	財団法人札幌市中小企業共済センター
財団法人日本国際協力センター	財団法人放送大学教育振興会
札幌映像プロダクション	札幌商工会議所



札幌商工会議所女性会	札幌商工会議所理事・部長職一同
札幌中央アーバン株式会社	札幌パブリック警備保障株式会社
札幌ロータリークラブ	佐藤印刷株式会社
山藤三陽印刷株式会社	社団法人札幌観光協会
社団法人北海道未来総合研究所	証券会員制法人札幌証券取引所
新谷建設株式会社	ストレンジャー21
空知リゾートシティ株式会社	大輝印刷株式会社
ダイコク交通株式会社	泰和石油株式会社
田中板金工業株式会社	TKデザイン
手稲ロータリークラブ	東京海上日動火災保険株式会社
東洲友の会	トーエー企業株式会社
なかせき商事株式会社	中村運送株式会社
ネットトヨタ函館株式会社	函館駅二商業協同組合
函館空港ビルディング株式会社	富士火災海上保険株式会社
弁護士法人神戸・万字・福田法律事務所	北洋システム開発株式会社
北海電気工事株式会社	北海道火災共済協同組合
北海道教育大学旭川校昭和62年卒「無二の会」	北海道教育大学釧路校後援会
北海道教育大学事務系職員OB・OG会	北海道電力株式会社
北海道農業協同組合中央会	北海道ビルサービス株式会社
北海道旅客鉄道株式会社	北幹警備保障株式会社
丸果札幌青果株式会社	みぞぐち事業株式会社
村井建設株式会社	山室繊維株式会社
有限会社秋田デザインイズム	有限会社エスプリング
ルンベル旭川	

※五十音順

### 個人（ご芳名とご寄附額の掲載についてご承諾いただいた方）

本間 謙二	2,182,000円	蛇穴 治夫	1,476,000円	守田由美子	1,050,000円
高向 巖	1,000,000円	船津 秀樹	1,000,000円	大津 和子	878,000円
柿沼 博彦	800,000円	大崎 功雄	330,000円	久綱 忠夫	300,000円
眞田 雄三	277,000円	渡部 英昭	256,000円	朝山 幸彦	200,000円
三浦 秀雄	200,000円	芝木 邦也	198,000円	星野 良	194,000円
佐藤 徹	150,000円	佐藤 康幸	136,000円	森田 寛	130,000円
志手 典之	127,000円	城後 豊	118,054円	吉田 昭穂	110,000円
久保 良宏	107,000円	前田 克彦	103,000円	小川 東洲	100,000円
金見 修司	100,000円	佐藤 英明	100,000円	瀬川 秀良	100,000円
武田 文男	100,000円	東海林明雄	100,000円	早川 正	100,000円
松岡 和久	100,000円	森下 憲次	90,000円	笹谷 春美	80,000円
佐川 正人	74,000円	蔵本 康彦	70,000円	佐々木 馨	70,000円
田中 和久	69,000円	上山 泰男	63,000円	岡崎 由夫	60,000円
小野寺基史	60,000円	玉井 康之	58,000円	越山 賢一	54,000円
媚山 敏文	54,000円	山口 洋志	54,000円	齊藤 健司	52,000円
佐々木和彦	52,000円	小林 佳之	51,000円	白敷 進	50,000円
瀬山 幸二	50,000円	滝川 幹	50,000円	中村 透	50,000円
ミュール 丸島真実	50,000円	森 範行	50,000円	小松 丈晃	45,000円
伊藤 美紀	44,000円	島澤 正弘	43,000円	松田 教男	43,000円
藤井 廣美	41,000円	精進 直樹	40,000円	戸田 浩幸	40,000円
山口 文章	40,000円	橋本 忠和	36,000円	松浦 俊彦	35,000円
林崎 誠司	34,000円	道谷 博	34,000円	本庄 十喜	33,000円
水上 丈実	33,000円	山岡 邦彦	33,000円	落合 清治	32,000円

泉澤玄一郎	30,000円	奥田 亨	30,000円	須田 康之	30,000円
高橋 伸幸	30,000円	玉川真里子	30,000円	中田美知子	30,000円
夏井 邦男	30,000円	樋口 英子	28,000円	藤井 麻由	28,000円
森 健一郎	28,000円	安川 禎亮	28,000円	石尾 直博	20,000円
笠間 勇二	20,000円	新保紅実子	20,000円	藤澤 隆司	20,000円
舟越 芳男	20,000円	本間 攝子	20,000円	村田 芳久	20,000円
青木 昌雄	16,000円	佐々 祐之	15,000円	前岡 和雄	14,000円
山口紀代志	14,000円	岡本 次郎	13,000円	石山 洋一	12,000円
小泉 匡弘	12,000円	青木 栄一	10,000円	石田 公貴	10,000円
磯脇 和平	10,000円	伊藤 則博	10,000円	稲上 保彦	10,000円
岩井 悦子	10,000円	上村 雅代	10,000円	遠藤 隆三	10,000円
大黒 静治	10,000円	大瀬 紘興	10,000円	大場 久夫	10,000円
加藤 潔	10,000円	亀畑 義彦	10,000円	栗山 眞理	10,000円
黒澤 克行	10,000円	穀山 旬子	10,000円	小橋 幸悦	10,000円
小山 昌吾	10,000円	紺野 理子	10,000円	斉藤 克人	10,000円
栄 みゆき	10,000円	作原 逸郎	10,000円	佐藤 哲哉	10,000円
佐藤 展	10,000円	佐藤 文音	10,000円	菅沼 雅絵	10,000円
杉山 忠夫	10,000円	関司裕美子	10,000円	武内 貴宏	10,000円
竹内 弘	10,000円	竹本 昌樹	10,000円	田中 勝恵	10,000円
富樫 繁樹	10,000円	徳田 雄亮	10,000円	富田 誠	10,000円
中村 紘司	10,000円	中村 達雄	10,000円	中村 俊滋	10,000円
西山 政市	10,000円	根本 直樹	10,000円	野中 啓介	10,000円
橋田 恭一	10,000円	伏木 忠了	10,000円	本多 仁	10,000円
宗像 修一	10,000円	吉田 茂夫	10,000円	吉田 浩晃	10,000円
佐藤 聖士	8,000円	横山 吉樹	8,000円	川政 靖彦	6,000円
北守 昭文	6,000円	大関 洋	5,000円	佐々木雅哉	5,000円
札内 征男	5,000円	品田 亮子	5,000円	菅原 立樹	5,000円
西村 榮基	5,000円	野村 英子	5,000円	吉田 繁延	5,000円
芳賀 均	4,800円	紀藤 典夫	4,000円	佐藤 悟	4,000円
谷村 幸重	4,000円	広川 和夫	4,000円	松田 順子	4,000円
石和 進治	3,000円	船橋 瑩次	3,000円	青木 潔	2,000円
浅野 賢二	2,000円	一戸 裕之	2,000円	岩崎 鶴好	2,000円
岩崎 昌江	2,000円	岩松 香織	2,000円	金谷 疆	2,000円
木村 淳	2,000円	木村 孝	2,000円	小鹿 隆次	2,000円
小嶋 範彦	2,000円	齋坂 道雄	2,000円	酒井 富夫	2,000円
櫻井 拓郎	2,000円	笹原 志郎	2,000円	澁谷 隆行	2,000円
新谷 公康	2,000円	相馬まり子	2,000円	竹内美恵子	2,000円
田中 佳丈	2,000円	寺井 孚	2,000円	外崎 清次	2,000円
仲井 靖典	2,000円	長澤 三郎	2,000円	中村 真也	2,000円
布目 知之	2,000円	野村 幸明	2,000円	細井 勝博	2,000円
牧野 央	2,000円	松井 伸樹	2,000円	宮崎 公彦	2,000円
安井 陽子	2,000円	藪下 一己	2,000円	矢部 公美	2,000円
山口 道明	2,000円	吉仲 崇	2,000円	清水美佐子	1,000円
高田 敏夫	1,000円	富尾 勝	1,000円	藤川 聡	1,000円

※金額順（同額の場合は五十音順）

個人（ご芳名のみ掲載についてご承諾いただいた方）

會澤 義雄	青木 英昭	青木 満里	青木 優一	青山 敏彦	青山 碧
赤瀬 國治	秋田 興二	秋山 弘	浅井 良之	浅川 哲弥	朝倉 奏子
浅利 祐一	東 尚巳	安宅 錦也	渥美 伸彦	穴木沢 潔	穴水 光輝
鎧谷 智靖	安部 愛子	阿部 修	阿部 実次	阿部 哲夫	阿部 博光
網 規行	綾部 史夫	荒岡 良明	荒木美智子	荒島真一郎	荒田 一志
安藤 豊	五十嵐雅浩	池田 満	池田 保夫	石井 純二	石井 紀夫
石井 久	石井 仁	石井 紘子	石川 公浩	石田 徹	泉 みち子
伊勢 敏哉	板津 邦夫	板橋 博	伊藤 潮	伊藤 功俊	伊藤 仙一
伊藤 千秋	伊藤 俊彦	伊藤 仁	伊藤 史人	伊藤 裕三	伊藤 隆介
稻見 卓人	今井 國雄	今井 宏	今泉 博	今田 敏文	岩田 圭剛
岩船 寛	ウリアム・マイケル	植木 克美	上村 好美	臼井 博	内島 貞雄
祖母井里重子	瓜生 淳一	海老名 尚	遠藤 純代	遠藤 芳信	及川 京子
及川 昇	大石 和博	大内 定	大内 俊	大江 洋	大江 凌之
大川 哲也	大口加代子	大久保和義	大久保康徳	大坂 治	太田 晶久
大塚 達也	大塚 哲郎	大月さゆり	大坪 嘉昭	大野 孝喜	大庭 英敏
大橋 賢一	大平 幸紀	大山 裕之	小笠原 薫	岡田 謙藏	尾形 猛
岡部 三男	岡村 聰	岡本 靖正	岡谷 崇志	小川 邦彦	奥崎 敏之
奥田 知靖	奥野 亮輔	奥村 広	小黒 貢	尾崎 文彦	尾崎富美子
押手 敬	尾関 俊浩	鬼丸 吉弘	小野 牧子	小原 孜郎	海藤 晃弘
柿崎 香	柿崎 則彦	可児まゆみ	笠井 稔雄	鹿嶋 利幸	柏野 吉貞
片岡 寛治	片山 晴夫	勝俣 美治	門脇 隆史	門脇 正俊	金子 俊之
鎌田 力	鎌田 浩子	鎌塚 宗一	上岡 宏	上條 雄也	神山亜紀子
神山 浩司	亀岡 朗子	加藤 俊孝	唐神美和子	川江 実	川上 隆幸
川野 孝志	川島 利春	鷹澤 好博	神田 房行	神林 勲	菊嶋 明廣
菊池 充	岸田 壮司	北村 博幸	北明 敏之	北山 雅士	木塚 雅貴
吉光寺勝己	衣川 實	杵淵久美子	杵淵 信	木村美太郎	工藤 悟
工藤 晋子	工藤 烈之	久原 勇	久保 進	久保田浩文	黒田 洋示
栗山弥壽男	小泉 信隆	小出 春司	小出 高義	高坂 和子	幸谷 晃
小島 三司	小島 容子	後藤 秋正	後藤 守	後藤 泰宏	後藤 嘉也
小林 香織	小林 一博	小林 研	小林 孝三	小林 征一	小林 禎三
小林 宏明	小檜山 博	小平 征雄	小森 明代	今 尚之	孔 麗
今野 孝明	紺野 高裕	今野 英明	才木 大輔	齊藤 彰	齊藤 敦司
齊藤 淳一	斎藤 祥子	斎藤 孝	齋藤 光夫	佐伯 雄司	酒井多加志
酒井 義信	坂口 翔馬	坂口 勉	坂下 令光	坂本志保美	坂本 紀子
櫻井 兼市	佐々木国博	佐々木けいし	佐々木 茂	佐々木 巽	佐々木久視
佐々木義之	佐々木良一	笹原 義雄	佐竹 道盛	佐藤 仁大	佐藤 信弥
佐藤 孝夫	佐藤 孝郎	佐藤 孝	佐藤 隆	佐藤 毅	佐藤 哲也
佐藤 直人	佐藤 伸喜	佐藤 昌彦	佐藤 道之	佐藤 泰光	佐藤 吉文
佐野比呂己	澤出 宗利	山藤 敬一	紫藤 正行	信太 順子	芝木美沙子
柴田 敬祥	嶋崎 一美	島谷 一芳	下宇坪 進	下元 利之	宿南 靖仁
庄井 良信	東海林耕太郎	白樫 真紀	新開谷 央	菅股 庄二	スガワ トオル
杉浦 清志	杉本 宏	鈴木 明彦	鈴木 淳一	鈴木 裕樹	鈴木 博
鈴木 正徳	清野 きみ	清野 隆	清野 恒夫	瀬川 良明	関口 裕昭
関谷 祐里	相馬 秋夫	相馬 一彦	曾我部和明	外崎 與之	外山 正條
田井 中	平 一弘	高木 重俊	高崎 晞	高田 康作	鷹野 正義
高橋 純二	高橋 庸哉	高橋 教一	高橋 勇輔	高向 善信	瀧波 武
竹内 一馬	竹田 勝	竹鼻 洋文	田崎 博久	橘 ヒサ子	田島 與久
立川 宏	立花 捨美	舘脇 武光	田中 昌弥	谷本 一之	谷口 賢司

谷口 英夫	玉木 佑昌	玉村喜代治	田丸 典彦	田村 光規	辻 敏明
辻 満	辻井 義昭	辻川 智宏	對馬 秀俊	出村 克弘	寺井 伸
寺中 哲二	寺山 秀人	照井 貴幸	土居 慎也	十亀 昭雄	徳永 好治
戸田 弘二	戸田須恵子	戸田 安彦	飛瀬 敏幸	富田 勤	長井 伸樹
長尾 一彦	長坂 好男	中島 太郎	中島 正義	中田 秀彦	長田 友紀
中田絵理奈	中谷 弘	中西 紗織	中西 信行	中橋 佳史	中原 勇夫
中道 莉央	永宮 優歌	中村 和雄	中村 公子	中村 達也	中村 秀子
中村 真規	中山 雅文	中山 稔	流田 雅己	名達 英詔	夏井 春喜
奈良 盛	奈良 一三	成澤 功	成田 明	南部 正人	新里 光代
新妻 仁	西川 昌慶	西木 光	西澤 功治	西山 真	新田三智也
沼田 元一	根本亜矢子	野川 潔	野田 哲史	野村 公	野村 潤
野呂 佳生	河 鍊洙	芳賀 敦	芳賀 卓	橋場美紀雄	橋本 昭夫
橋本 美則	長谷川 致	長谷川 工	八町 憲一	花輪 大輔	馬場 俊臣
濱淵 雅樹	林 敬二	林 政孝	林 吉明	林 義明	原田 行造
東方 豊松	氷見山幸夫	日森 爰	兵頭 進	平田新次郎	平野 雅宣
蛭田 眞一	広井 智紀	弘中健一郎	廣畑 圭介	福井 博志	福井 昌樹
福井 雅英	福田 薫	福田 翼	福原 義幸	福山恵太郎	藤井 英嘉
藤井 実	藤川 洋子	藤田 雅史	藤波 信成	藤根 信章	藤本 誠造
藤森 由希	藤原 正士	布施 宣善	布施 吉規	佛具 克明	古川 宇一
古川 昇	堀 秀幸	堀川 守正	本庄 康伸	本堂 知彦	前田亜由美
前田 賢能	前田 眞	前田 正廣	間口 辰博	マコトシアート	増淵 哲子
松倉 年子	松下 博信	松橋 智子	松本 勝裕	松本 禮一	三浦 友和
三浦 弘	三澤 壽喜	水上 俊司	水田 香	水野 政勝	道下 正人
三橋 功一	皆川 治恵	湊 公夫	南谷 誠	宮家 康浩	宮腰 秀弘
宮崎 素	宮田 省一	明神 勲	明神もと子	向井 慎一	村上 力夫
村上 知子	村瀬 清史	村瀬 千樞	村田 義広	村山 登	村山 紀昭
室山 俊美	望月 正男	森 博人	森下 智之	森島 克久	森野 重雄
諸橋 輝雄	八重樫良二	八木 利夫	安田 侃	矢野 秀幸	矢部 和彦
山形 昇平	山岸 敏彦	山口 栄三	山崎 正吉	山崎 節雄	山下 克彦
山田 力三	山田志保子	山田 純	山田 正二	山田 肇	山田 博子
山本 道隆	山本 光朗	山本 勇一	山本 理人	横尾 實	横谷 英次
横山 裕充	横山 充	吉崎 祥司	吉田 聡子	吉田 弘夫	吉田 宏
吉田 宏之	吉田 正生	吉沼 一	芳根 和子	吉原 英夫	吉松 純昭
吉見 孝夫	吉村 功	米谷 元捷	龍島 秀広	若松 泰生	和田 恵治
和田 謙二	和田知賀子	渡部 克孝	渡辺 由光	渡部 俊夫	渡利 正義

※五十音順

### ■ 「札幌校創立百三十周年記念式典」を挙



札幌校は、明治19年に北海道師範学校として設立され、昨年で創立130周年を迎えました。このことを記念して、平成28年10月1日（土）、札幌全日空ホテルにおいて、記念式典及び祝賀会を挙りました。

記念式典は、本学役員、経営協議会学外委員、教育関係者、同窓会・後援会関係者、地域の関係者、名誉教授及び元教職員など本校に縁のある方々に出席いただき、厳かな雰囲気の中、執り行われました。

式典終了後には祝賀会が催され、札幌校の歴史のスライドショー、札幌校OG・OBの演奏や学生の混声合唱団による新旧学生歌斉唱などもあり、盛況のうちに終了しました。

### ■ 釧路校の学生が「酪農家民泊体験 in 根室2016」に参加

命の糧「食」とこれを産み出す第一次産業・農山漁村の価値・重要性を子どもたちに伝えていくことは、教育の大きな役割であります。このようなことを身をもって実感し、理解を深めてもらおうと釧路校では「酪農家民泊体験実習」を行っています。4年目を迎えた平成28年度は、5月27日（金）から29日（日）の2泊3日にわたり実施され、大学院生を含む24人が参加しました。

1日目には、JA道東あさひで根室地区農協青年部の方々から講義を受けた後、12軒の酪農家さんのお宅に分宿し、給飼・牛舎清掃や搾乳といった1泊2日の酪農生活体験をさせていただきました。2日目の昼にはデザート調理実習の後、それぞれの体験の振り返りや共有をしました。3日目には、学びの成果発表を行いました。

参加した学生からは「第一次産業に対する見方や意識が変わった」、「体験した私達だからこそできる、体験をつなぎ、伝え、広げていくことができる食育の取り組みを考えていきたい」などの感想が寄せられました。



### ■ 岩見沢校にて「第2回レッツトライ! アダプテッド・スポーツ in 岩見沢」を開催

平成28年7月18日（月）、岩見沢校において「第2回レッツトライ! アダプテッド・スポーツ in 岩見沢」(主催：アダスポ実行委員会、岩見沢市、本学岩見沢校)を開催しました。障害がある方も、小さな子どもも、ご高齢の方も、運動が苦手な方も、誰でもスポーツを楽しめることが大切であるという理念から、平成27年6月に実施した第1回に引き続き開催しました。



当日は、「車椅子フェンシング」「車椅子バスケットボール」「ブラインドサッカー」などのパラリンピック競技はもちろん、「アンブティサッカー」や「車椅子ソフトボール」「フライングディスク」など、多くの魅力的なスポーツが体験できるブースを設けました。また、高齢者に人気の「スポーツ吹き矢」体験ブースや、知的障害者のスポーツ団体「スペシャルオリンピックス」の紹介ブースを設けるなど、障害の有無や技能レベル、年齢にとらわれずに多くの方が楽しめるスポーツの見本市となりました。

今後も「Sports for all」を基本として、スポーツの持つ魅力を地域と一体になって発信し続けていきます。

## ■ 函館校の学生が「北海道☆RESASデータ分析フォーラム」及び「第1回はこだて学生政策アイデアコンテスト」で発表

平成28年10月7日（金）、函館校のゼミ生が、札幌で開催された「北海道☆RESASデータ分析フォーラム」に参加しました。このフォーラムは、経済産業省北海道経済産業局、株式会社北海道銀行、株式会社道銀地域総合研究所が主催し、RESAS（地域経済分析システム）と呼ばれるビッグデータを活用した政策アイデアを提案する場として企画されました。小樽商科大学、札幌大学、北海学園大学、釧路公立大学の学生も参加し、約200人の出席者を前に、観光などを通じた地域活性化のアイデアを発表しました。

学生は「RESASから捉え直す北海道最古の祭—北海道江差町の地域経済を御神酒の地産地消で元気にする」と題して、江差町でのフィールドワークの経験を基に、RESASやその他のデータ、各種文献を活用しながら、郷土愛を利用した若者流出対策、第2次産業を中心とした地域経済の活性化策を提案しました。

このプレゼンテーションは、10月29日（土）に函館市中央図書館で開催された「第1回はこだて学生政策アイデアコンテスト」においても発表し、見事最優秀作品グランプリを獲得しました。



## ■ 旭川校にて「2016教職シンポジウム in旭川～魅力ある教師をめざして～」を開催

平成28年12月2日（金）、キャリアセンター旭川校センターの企画により「2016教職シンポジウム in旭川～魅力ある教師をめざして～」を開催しました。本シンポジウムは、教員志望学生を対象に、就職実現に向けての意欲向上を図ることを目的として平成24年度から実施しており、今年度は112人の学生及び教職員が参加しました。



当日は、旭川市内小中学校にて教育現場を支える6人の現職教員をコーディネーター及びパネリストとしてお招きし、「今、学校では」をテーマに、パネルディスカッションを行いました。今年度は若手から中堅まで幅広い現職教員の方から経験談を交えた発表があり、学生にとってより貴重な意見を聞かせていただくことができました。

参加した学生からは、「具体的な対応が色々聞いてよかった。将来のイメージを持てるものとなった。」「昨年も参加したが、今年は新卒の先生がいらして身近に感じられ、とてもよい経験となった。」「実体験を踏まえたお話を聞いて、大変勉強になった」などといった感想が寄せられました。

## ■ 小学校外国語活動・小中連携フォーラムを開催

平成28年12月18日（日）、札幌市内のホテルにて「北海道教育大学小学校外国語活動・小中連携フォーラム」を開催し、現職教員や学生など約100人が参加しました。

当日は、寿都町、附属小中学校が取り組んできた実践発表や、東京学芸大学の粕谷教授からワークショップで参加者も巻き込んだ楽しい実践例の紹介がありました。シンポジウムでは、HATOプロジェクトをなす4大学、旭川校の石塚教授、東京学芸大学の粕谷教授、大阪教育大学の柏木教授、愛知教育大学の建内教授がそれぞれ提言を行いました。

平成32年から全面实施される小学校5,6年生の英語の教科化に向けて、現場の教師は学ぶべき指針、得るべき情報を学ぶことができたと思われまます。

参加者からは、「大変勉強になった。これを現場で生かしたい。」「いろいろなことを考えるきっかけになった。」等の感想があり、好評のうちに終了しました。



## ■「エゾシカフェスタ in 釧路」を開催

平成29年2月11日（土）、釧路センチュリーキャッスルホテルにおいて「エゾシカフェスタ in 釧路」を開催し、学生や一般市民など約90人が参加しました。

当日は、講演や実践報告、パネルディスカッションが行われました。実践報告では、釧路校の学生が小学生向けに作成した「エゾシカクイズ」を導入に用いた指導案を紹介しました。パネルディスカッションでは、本学釧路校の鎌田教授の他4人がパネリストとなって討論を行いました。昼食はシカ肉を使ったカレーがふるまわれ、エゾシカの有効活用について様々な立場から考える場となりました。参加者からは「勉強になった」「フェスタ全体の雰囲気がよかった」などの意見があり、大変好評でした。

また、釧路校の授業「消費者教育」の受講学生15人が、北海道消費者協会と釧路消費者協会の事務局とともにスタッフとして参加しました。学生達は授業の中で、流通や消費について持続可能な消費という観点から本年度は主にエゾシカをテーマとして取り上げており、この活動を通じて地域と交流できたことと併せて、授業で学んでいることへの理解を深める良い機会となりました。



## ■「サモア独立国初等理科教育における問題解決型授業の展開」プロジェクトを サモア側にハンドオーバー

本学がサモア独立国で実施してきた「初等理科教育における問題解決型授業の展開」プロジェクトが最終年度を迎え、平成29年2月16日（木）、サモアで“Official Handover Ceremony”が行われ、無事にサモア側へプロジェクトを引き渡しました。この式典には、蛇穴学長が出席し、サモア教育・スポーツ・文化省（以下「MESC」）のLoau Solamalemo Keneti Sio大臣閣下、在サモア日本大使館蒔田一正大使閣下ご臨席のもと、同省にて執り行われました。

この式典で、蛇穴学長からは、日本大使館、JICA、MESCへの感謝の意とともに、「大学としても、MESCが中心となっていく同国の理科教育改善について、引き続き後方支援していきたい。」との発言があり、MESC大臣からは、「サモアの教員への指導に対し心から感謝する。サモアの教員達には、学んだ手法を是非、小学校現場で活かして欲しい。」旨のスピーチがありました。

なお、式典で、本プロジェクトの成果品の一つ「児童の考える力を育てる理科・算数科の授業展開の手引き」が、蛇穴学長からMESC大臣へ手交され、今後、サモアの教員達に活用されることが期待されます。

本プロジェクトで構築したMESCと良好な関係に基づき、今後とも、サモアでの「問題解決型授業」が展開していくことを、フォローアップ調査や研修員受入事業等を通じ、支援していく予定です。



# 国立大学法人北海道教育大学基金規程

制定 平成28年6月21日

(趣旨)

第1条 この規程は、国立大学法人北海道教育大学基金（以下「基金」という。）の設置並びに管理及び運営について、必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 国立大学法人北海道教育大学（以下「本学」という。）に基金を置く。

2 基金は、個人、団体、企業等から提供された寄附金をもって充てる。

(目的)

第3条 基金は、本学の学生に対する支援及び教育研究環境の整備・充実等を図ることにより、一層の教育研究活動の推進に資することを目的とする。

(事業)

第4条 基金は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行うことができる。

(1)育英事業

成績が優秀な学生に対する奨学金の給付

(2)表彰事業

北海道教育大学学生表彰規則（平成16年規則第130号）第2条に該当する個人又は団体に対する表彰

(3)修学支援事業

経済的理由により修学困難な学生に対する授業料の減免及び奨学金の給付並びに学生の海外留学に係る渡航費用の一部補助

(4)研究プロジェクト、公開講座等開催の支援事業

特定の研究プロジェクト又は公開講座等開催に対する支援

(5)修学環境整備事業

教室等の施設・設備の整備及び教育環境の整備

(6)課外活動支援事業

学生の課外活動に対する支援

(7)その他基金の目的達成に必要な事業

(事業年度)

第5条 基金の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年の3月31日に終わるものとする。

(基金の運営)

第6条 基金は、基金への寄附及びその運用による果実をもって構成する。

2 運営に関する重要事項は、第8条に定める基金運営委員会の審議を経るものとする。

(基金の管理)

第7条 基金の管理は、国立大学法人北海道教育大学会計規則（平成16年規則第42号）第5条第3号に定める出納役が行う。

2 出納役は、基金の会計に関する業務を総括すると

もに、毎事業年度終了後、速やかに前年度の決算を行い、第8条に定める基金運営委員会の審議を経るものとする。

3 第4条第3号に掲げる事業に充当する資金は、他の号に掲げる事業に対する寄附金と区分して修学支援事業資金として個別に管理しなければならない。

(基金運営委員会)

第8条 本学に、基金運営委員会を置く。

(組織)

第9条 基金運営委員会は、次に掲げる委員で組織する。

(1)学長が指名する理事 若干人

(2)本学の役員又は教職員以外で大学に関し広い識見を有する者から学長が委嘱する者

(3)キャンパス長

(4)教職大学院長

(5)学校臨床心理専攻長

(6)事務局長

(7)部長

(8)事務長

(9)その他学長が必要と認める者

2 基金運営委員会に委員長を置き、学長が指名する理事をもって充てる。

3 基金運営委員会は、構成員の3分の2以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

(審議事項)

第10条 基金運営委員会は、次に掲げる事項について審議する。

(1)事業計画に関すること。

(2)基金の受け入れ及び運用に関すること。

(3)予算及び決算に関すること。

(4)その他基金の管理及び運営に関する重要事項

(事業の決定)

第11条 第4条に掲げる事業のうち、各事業年度において実施する事業及びその対象については、基金への寄附金の受入れ状況を踏まえ、基金運営委員会の審議の上、国立大学法人北海道教育大学運営規則（平成26年規則第25号）第5条に定める役員会の承認を経て、学長が決定する。

2 基金運営委員会は、各事業年度において実施する事業の対象となる候補者等の選考及び推薦を学生支援委員会等に依頼することができる。

(寄附の申込)

第12条 寄附の申込手続きは、別に定める。



(受入れ審査)

第13条 寄附の申込があったときは、第15条に定める受入れ条件を審査するものとする。

(基金への受入れ)

第14条 基金への寄附金の受入れは、学長が決定する。  
2 寄附金の収納があったときは、寄附金申出額と収納額を照合の上、速やかに別に定める領収書を寄附者に交付するものとする。ただし、継続して交付する必要がある場合は、寄附した日の属する年の12月にまとめて交付することができる。

(受入れ条件)

第15条 次に掲げる条件の付された寄附は基金に受け入れることができないものとする。

(1)学術研究の成果として得られた特許権等の知的財産権及びこれらに準ずる権利を寄附者に譲渡又は使用させること等、寄附者に対して寄附の対価として、何らかの利益又は便宜を供与すること。

(2)使用した寄附の経理について、寄附者が会計検査を行うこと。

(3)寄附を受け入れることにより著しく財政負担が伴うこと。

(4)寄附者からの寄附申込後、寄附者が寄附の全部又は一部を取消することができること。

(5)寄附により取得した財産を無償で寄附者に譲渡すること。

(6)前各号に掲げる場合のほか、教育研究上支障があると認められること。

2 用途には、基金事業の運営に係る管理的経費を含むものとする。

(用途の特定)

第16条 寄附金の受入れの決定にあたり、寄附者があらかじめ用途を特定しない場合においては、これを特定しなければならない。

2 前項の場合において、学生を支援する事業に充当する目的と特定された寄附は、第4条第3号の事業に充てる修学支援事業の資金として個別に整理しなければならない。

(用途の変更の禁止)

第17条 第4条第3号の修学支援事業の資金として受入れた寄附の用途は、変更することができない。

(受入状況の報告)

第18条 基金の受入れ及び払出状況を記録するとともに、月毎に収支の状況を取りまとめ、学長に報告するものとする。

(事業報告)

第19条 学長は、毎事業年度終了後、基金の収支状況及び事業の実施状況を寄附者に報告するものとする。

2 前項の報告は、本学のホームページ及びその他適宜の方法をもって行うものとする。

(基金事務室)

第20条 基金に関する業務を円滑に行うために、基金事務室を置く。

(任務)

第21条 基金事務室は、次に掲げる業務を行う。

(1)広報等の募金活動業務

(2)基金の受入業務

(3)基金事業の実施に関する業務

(4)基金運営委員会の補助業務

(5)関係各課(室)及び関係委員会等との連絡調整業務

(6)その他基金事業に関する業務

(組織)

第22条 基金事務室は、次の各号に掲げる者で組織する。

(1)総務部総務課所属の職員 若干人

(2)財務部財務課及び経理課所属の職員 各1人

(3)学務部学生課所属の職員 1人

(室長)

第23条 基金事務室に室長を置き、学長が指名する者をもって充てる。

(雑則)

第24条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附則

1 この規程は、平成28年6月21日から施行する。

2 国立大学法人北海道教育大学教育支援基金要項(平成18年12月1日制定)は、平成28年6月21日をもって廃止し、同要項第3に定める企業等から提供された寄附金及びその運用による果実は、第2条に定める基金に承継する。

## ご 連 絡

### ■ クレジットカード決済の開始について ■

平成29年4月より、クレジットカード決済による寄附が可能となりました。  
北海道教育大学基金のWebサイト (<http://www.hokkyodai.ac.jp/fund/>) からお申込みいただけます。  
(スマートフォンからのお申込みもできます)

### ■ 北教大古本募金について

皆様が読み終えた書籍等を提供いただくと、その買取金額が「北海道教育大学基金」に寄附され、育英事業等に役立てられます。ホームページからのお申し込みに加え、各キャンパスに回収ボックスも設置しております。不要となった書籍、CD、DVDなどのご寄附をお待ちしております。

詳しくは、北教大古本募金のWebサイト (<http://www.furuhon-bokin.jp/hokkyodai/>) をご覧ください。

### ■ 寄附者のご芳名の掲載について

ご寄附をいただいた方々への感謝の意を込めまして、本学のホームページにご芳名を掲載させていただきます。

また、団体10万円以上、個人5万円以上のご寄附をいただいた方々につきましては、本学ホームページ上のWeb寄附者銘板にご芳名を刻み、末永く顕彰させていただきます。

なお、寄附お申込み時に大学広報誌等へのご芳名の掲載を希望されなかった方については、本学ホームページ及びWeb寄附者銘板への掲載はいたしません。

※本学の本部事務局内に設置しております寄附者銘板へのご芳名の掲載につきましては、平成28年11月までのご寄附をもって追加の掲載を終了させていただきました。なお、これまでに寄附された方々のご芳名を掲載した寄附者銘板については、引き続き設置しております。

※ご芳名の掲載の削除を希望される場合は、その旨ご連絡下さいますようお願いいたします。

### ■ 税額控除制度の導入について

租税特別措置法の一部改正により、国立大学等が実施する修学支援事業に充てられる個人からの寄附にかかる所得税の税額控除制度が導入されました。

北海道教育大学基金の修学支援事業へのご寄附は税額控除の対象となりますので、確定申告の際に寄附者様において、所得控除又は税額控除のいずれかを選択することができます。

$$\left( \begin{array}{c} \text{所得金額} \\ \text{(年収)} \end{array} - \begin{array}{c} \text{諸控除} \\ \text{(扶養控除等)} \end{array} \right) \times \begin{array}{l} \text{(税率)} \\ 5\% \\ 10\% \\ 20\% \\ 23\% \\ 33\% \\ 40\% \\ 45\% \end{array} = \begin{array}{c} \text{所得税額} \\ \text{(寄附金-2,000円) \times 40\% を控除} \end{array}$$

寄附金のうち、2,000円を超える額の40%が所得税から控除されます。その金額の所得税が還付されます。  
※所得税額の25%が限度です。

《例：年収500万円の寄附者が1万円寄附した場合》

○税額控除の例

税率に関わりなく、8,000円×40%=3,200円

○所得控除の例

(10,000円-2,000円=8,000円) × (税率10%(平均的な世帯の諸控除額を想定)) = 800円

国立大学協会資料から一部転用

### 【お問い合わせ先】

北海道教育大学基金事務室

〒002-8501 札幌市北区あいの里5条3丁目1番3号

北海道教育大学総務部総務課内

TEL:011-778-0206,0915 FAX:011-778-0631

E-mail:s-somu@j.hokkyodai.ac.jp

<http://www.hokkyodai.ac.jp/fund/>